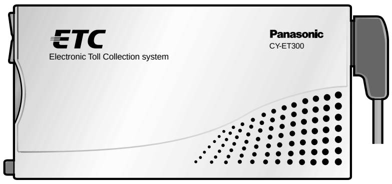
Panasonic

ETC 車載器
Electronic Toll Collection System

取付説明書

品　番　**CY-ET300D**



お願い

● ETC 車載器の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

販売店・取付業者様へのお願い

●取付完了後、この取付説明書は、必ずお客様へお渡しください。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前にこの取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

ETC

安全にお使いいただくために 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です）

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

運転者は走行中に操作をしない

禁　止

走行中に操作をすると、前方不注意となり交通事故の原因になります。操作は安全な場所に停車して行ってください。

実際の交通規制に従って運転する

ETC ご利用時でも、不測の事態（事故や異常気象）においては実際の交通規制に従って運転してください。交通事故の原因になります。

料金所通行時は、必ず以下のことをお守りください

開閉バーが開いた状態であることを確認し、十分な車間距離と安全な速度で通行してください。

⚠ 注意

分解や改造はしない

分解禁止

車載器の本体ユニット、アンテナユニットを分解したり改造すると、発煙、発火の原因になります。また、内部の改造は、法律で禁じられています。

挿入口に手・指や異物を入れない

禁　止

ETC カードの挿入口に手・指や異物を入れるとけがや故障の原因になります。

ラベルを剥がさない

禁　止

車載器の本体ユニットにあるラベルを剥がすと認証機器として認められません。
剥がれたものは使用しないでください。

取り付け、配線は専門技術者に依頼する

車載器の取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

故障や異常のまま使用しない

禁　止

音が出ない、煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

ヒューズの交換は、専門技術者に依頼する

規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因になります。ヒューズの交換は、お買い上げの販売店に依頼してください。

水のかかる恐れのある場所、湿気や埃の多い場所に取り付けない

禁　止

発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。
飲料などがかからないようにしてください。

落下しないようにしっかり取り付ける

ねじがゆるんでいたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して、運転に支障をきたし、事故やけがの原因になります。
時々点検してください。

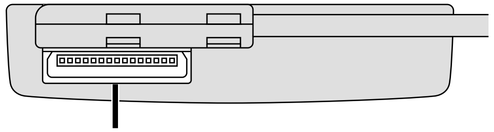
部品表

ETC 車載器は下記の部品で構成されています。取り付ける前に部品を確認してください。

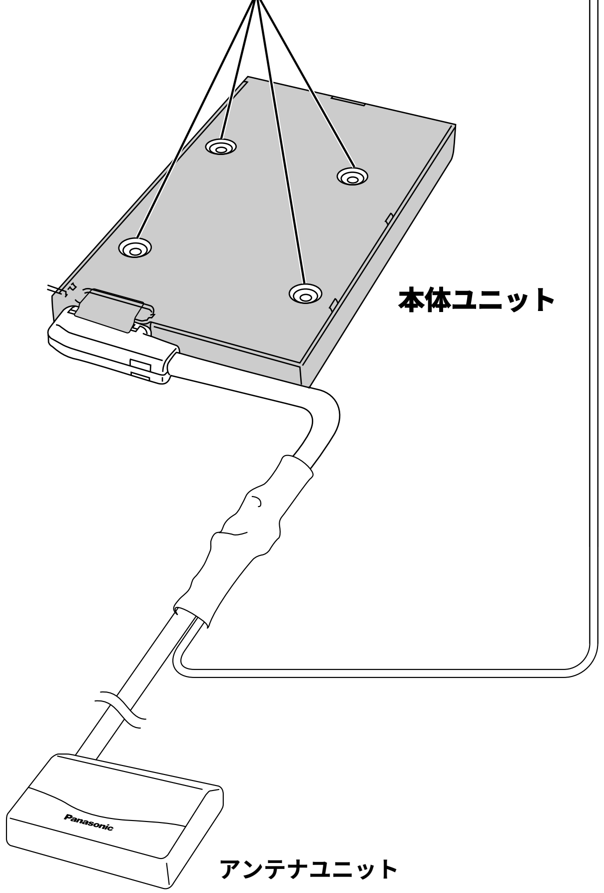
番号	品　　名	個数	備　　考
❶	本体ユニット＋アンテナユニット	1	
❷	取付ブラケット（A）	1	
❸	取付ブラケット（B）	1	
❹	角度調整台座	1	
❺	線材固定テープ	1	線材処理に、適宜カットして使用
❻	両面テープ（本体取付用）	1	
❼	両面テープ（アンテナ取付用）	2	
❽	コードクランパー	3	線材処理に適宜使用
❾	束線バンド	5	線材処理に適宜使用
❿	皿小ネジ（M3 × 5）	4	
⓫	バインド小ネジ（M3 × 5）	1	
⓬	トラスタッピンネジ（φ 4 × 8）	4	

各部の名前とはたらき

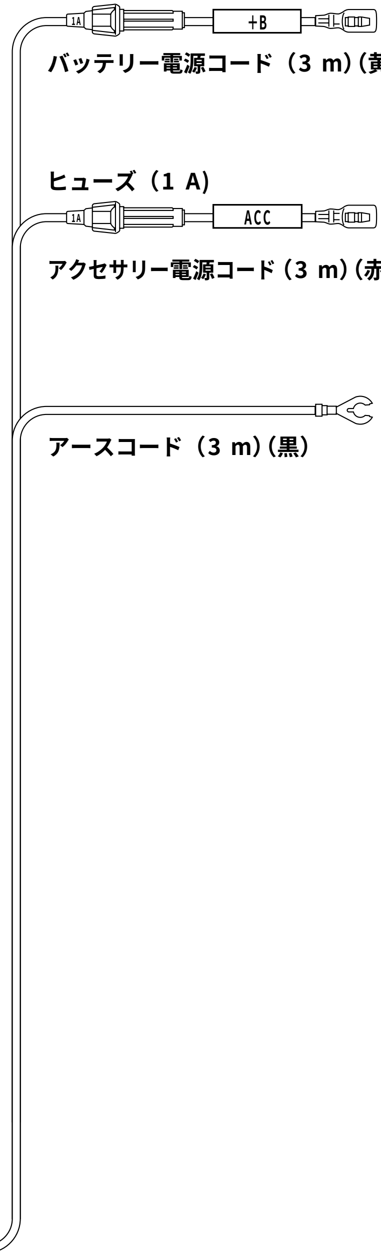
本体ユニット後面



カーナビゲーション接続端子
別売のカーナビゲーションと接続するときに使用します。
(取扱説明書 ☞20 ページ)



電源コードを接続する



取り付ける前に

取り付けのとき

- ●直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風が直接当たる場所など、温度が極端に高くなる場所へ本体ユニットを取り付けないでください。
- ●本体ユニット、アンテナユニットは必ず車室内に取り付けてください。
- ●アンテナユニットを取り付ける場所は、運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所は避けてください。
- ●部品を両面テープで貼り付けるときは、貼付面の汚れ、油脂分、ワックス、湿気はきれいにふき取ってから貼り付けてください。
- ●車体に穴をあけるときは、下にあるパイプ類や配線などに穴をあけないように、よく確認してから穴をあけてください。
- ●車体のボルトやナットを使用して取付用部品と共締めするときは、ハンドル、ブレーキ系統およびエアバッグ系統のものは絶対に使用しないでください。
- ●車載器の取り付け場所は運転上必要な視野を確保できる（支障のない）場所に取り付けてください。（ハンドルの中心から左右２００㎜以内には取り付けないでください）
- ●フロントガラスの上にひさしを装着している場合やルーフにキャリングケースなどを載せている場合など、電波を遮へいする車両には取り付けできません。
- ●カップホルダーの近くなど飲料水をこぼしやすい位置には取り付けないでください。
- ●電波不透過ガラス装着車両および赤外線反射ガラス装着車両では、電波が受信できない事があります。
- ●メーカー純正のカーナビゲーションを搭載した車両で、ダッシュボード内にＧＰＳアンテナが埋め込まれている場合は、ＧＰＳアンテナの真上を避けて取り付けてください。

配線のとき

- ●車載器はDC12/24 V車ともに使用でき、マイナスアース専用です。
- ●配線作業中はショート、事故防止のため、バッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- ●車体や、ねじ部分に配線をはさみ込まないように注意してください。
- ●車体のボルトやナットを使用してアースを取るときは、ハンドル、ブレーキ系統およびエアバッグ系統のものは絶対に使用しないでください。
- ●アンテナコードや各リード線は、かみ込みがないように確認してください。
- ●リード線が余ってぶらついたり、また、張りすぎたりしないように、車両のリード線とまとめて線材固定テープで固定してください。（振動などにより、鉄板のエッジ部や溶接のバリなどとの干渉によるリード線の損傷を防ぐため）
- ●リード線が余ってぶら下がってしまう場合は、束線バンド等で結束し、絶対にぶら下がらないようにしてください。（足などに引っ掛けてコネクターのはずれ、内部断線などのリード線の損傷が起こったり、正しい運転操作ができなくなり、事故に発展する恐れがあるため）
- ●鉄板のエッジ部、バリやタッピンネジのエッジ、ボルトの頭部などの近くに配線しないでください。（振動などにより、リード線が損傷する恐れがあります）
- ●リード線は、強く引っ張らないでください。（連結部のはずれや損傷、内部断線などリード線の損傷の原因となります）

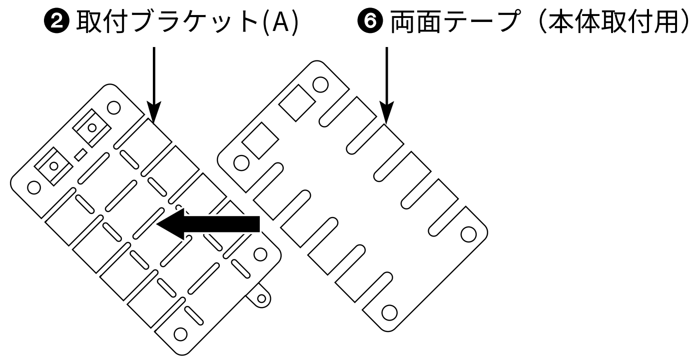
本体ユニットを取り付ける

⚠ 注意

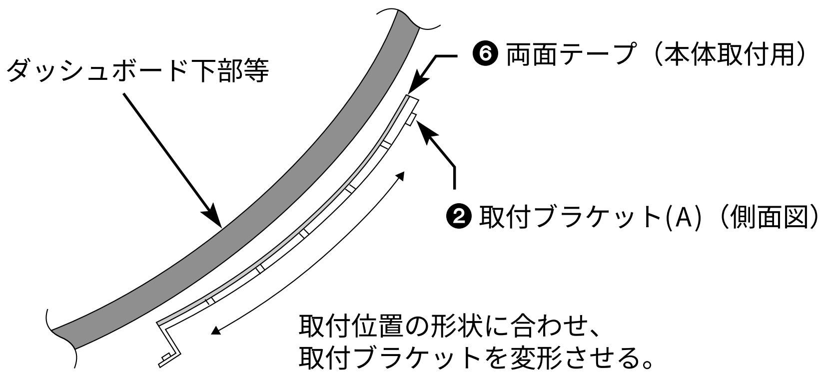
落下しないようにしっかり取り付ける

ねじがゆるんでいたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して、運転に支障をきたし、事故やけがの原因になります。
時々点検してください。

1 取付ブラケット（A）に両面テープ（本体取付用）を貼り付ける。



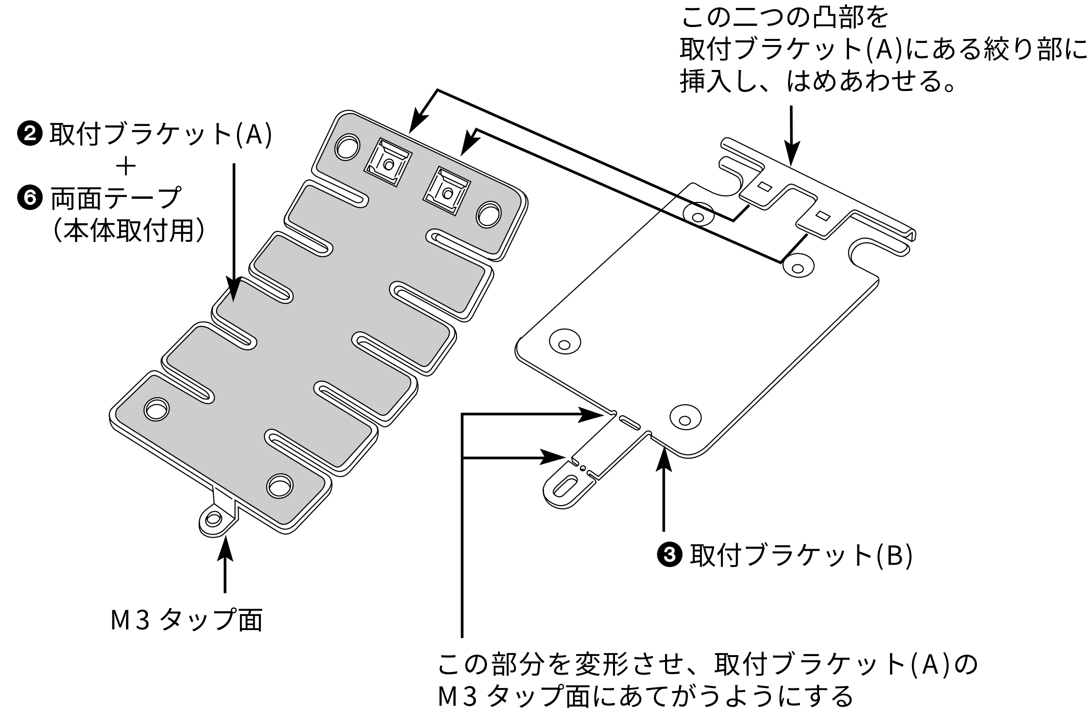
2 本体ユニットの取付位置を決め、取付ブラケット(A)を取付位置の形状に合わせて変形させる。

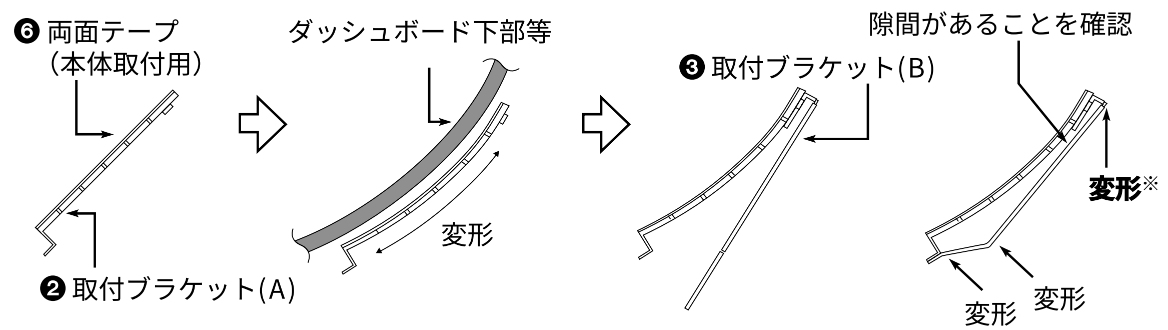


本体取付推奨位置

- ダッシュボード下側やセンターコンソール付近の運転の妨げにならない場所に取り付けてください。ダッシュボードの上側には、絶対に取り付けないでください。故障した場合、保証対象外となります。
- 後でタッピンネジで固定するので、ダッシュボードやセンターコンソールの裏側にハーネスやブラケットなどがないことを確認してください。
- 飲料などがかからないよう、カップホルダー下部などへの取り付けは、避けてください。

3 取付ブラケット（A）を取付位置の形状に合わせた後、取付ブラケット（B）との仮取り付けをする。





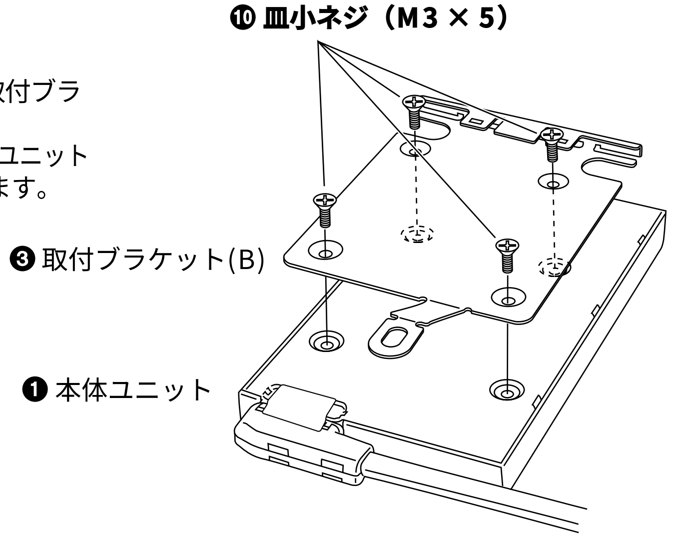
※この部分は、何度も繰り返し変形させないでください。折れる場合があります。

お願い

- 取付ブラケット(A)と(B)の中央部での隙間を確保してください。当たっている場合は走行中に異音を発生する恐れがあります。

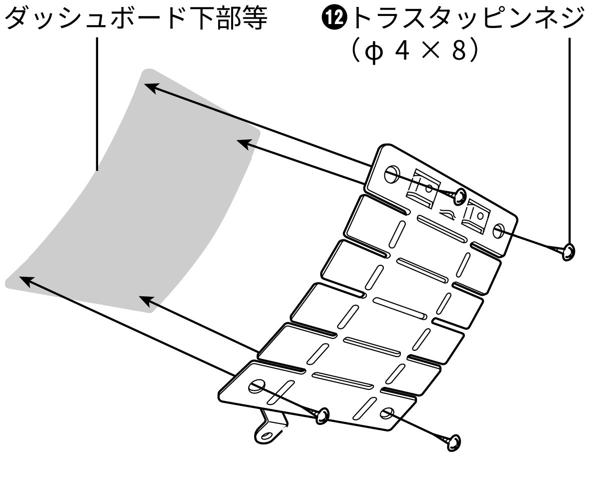
4 取付ブラケット(B)を本体ユニットに取り付ける。

- 変形させた取付ブラケット(B) を取付ブラケット(A)からはずす。
- はずした取付ブラケット(B)を、本体ユニットに**皿小ネジ 4 本を使用して固定**します。



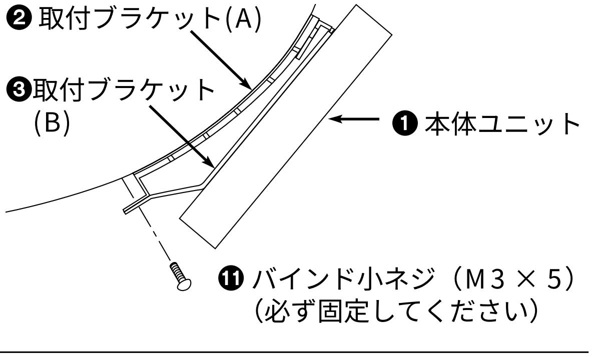
5 取付ブラケット(A)を取り付ける。

- 手順 *2* で取付位置の形状に合わせた取付ブラケット（A）を、手順 *1* で接着した両面テープの裏紙をはがし、取付位置へ取り付けます。
- トラスタッピンネジで固定します。



6 取付ブラケット(A)に本体ユニットを取り付ける。

- 手順 *4* で取り付けた取付ブラケット(B)の凸部を、取付ブラケット(A)の絞り部に挿入し、はめあわせる。
- バインド小ネジで固定します。



7 線材を配線する。

- コードクランパーや束線バンドを使用して、ダッシュボード下側へ見えないように配線します。余った線材は、線材固定テープや束線バンドなどで車両に固定してください。

アンテナユニットを取り付ける

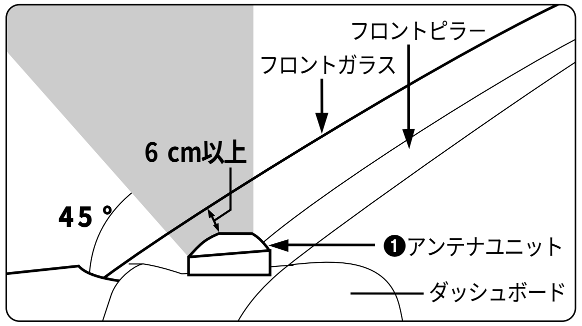
アンテナユニットを取り付ける前に…

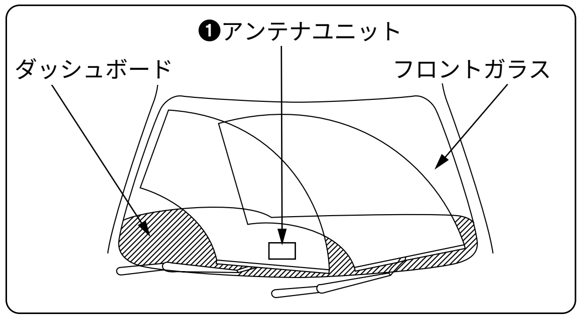
お願い

- **各種電子機器に近すぎると、性能に影響を与える場合がありますので、下記の例を参考に、各機器からなるべく離れた位置に取り付けてください。**
  例　・GPS、VICS など、他のアンテナからは 10 cm 以上離して取り付けてください。
  ・ディスプレイユニットからは 20 cm 以上離して取り付けてください。
  ・レーダー探知機は、特に影響を受けやすいため、異常探知とならない場所に取り付けてください。
- **メーカー純正のカーナビゲーションを搭載した車は、ダッシュボード内に GPS アンテナが埋め込まれている場合があります。その時は、GPS アンテナの真上を避けて取り付けてください。**
  また、取り付け後も GPS の受信感度が悪化していないことを確認してください。
- **アンテナユニットを取り付けるダッシュボード面の湿気、ゴミ、油などをよく拭き取ってください。**
- **気温が低いときは、両面テープの粘着面とダッシュボードの貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。**

お願い

- **側面から見てアンテナユニットがフロントピラーの陰に入らない位置に取り付けてください。**
- **アンテナユニットの上側 45 °よりも上の位置（右図中の　　部）に障害物がないように取り付けてください。**
  （ただし、動いているワイパーがこの位置を通過するのは問題ありません）
- **フロントガラスとアンテナユニットとの距離は、6 cm 以上離して取り付けてください。**
  （近すぎると、通信性能に影響を与える場合があります）
- **上から見て、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。**





- **アンテナユニットは必ず車室内に取り付けてください。**
- **電波不透過ガラス装着車両および赤外線反射ガラス装着車両では、電波が受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。**
- **運転席から前方視界の妨げにならないことを十分確認の上取り付け位置を決めてください。**

⚠ 注意

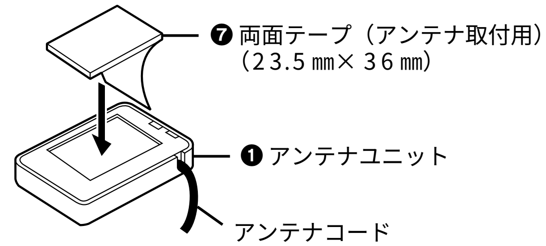
エアバッグ動作の妨げになる場所に取り付けない

禁　止

助手席にエアバッグシステムを装備している車に取り付ける場合は、エアバッグシステムの動作の妨げになる場所に取り付けないでください。

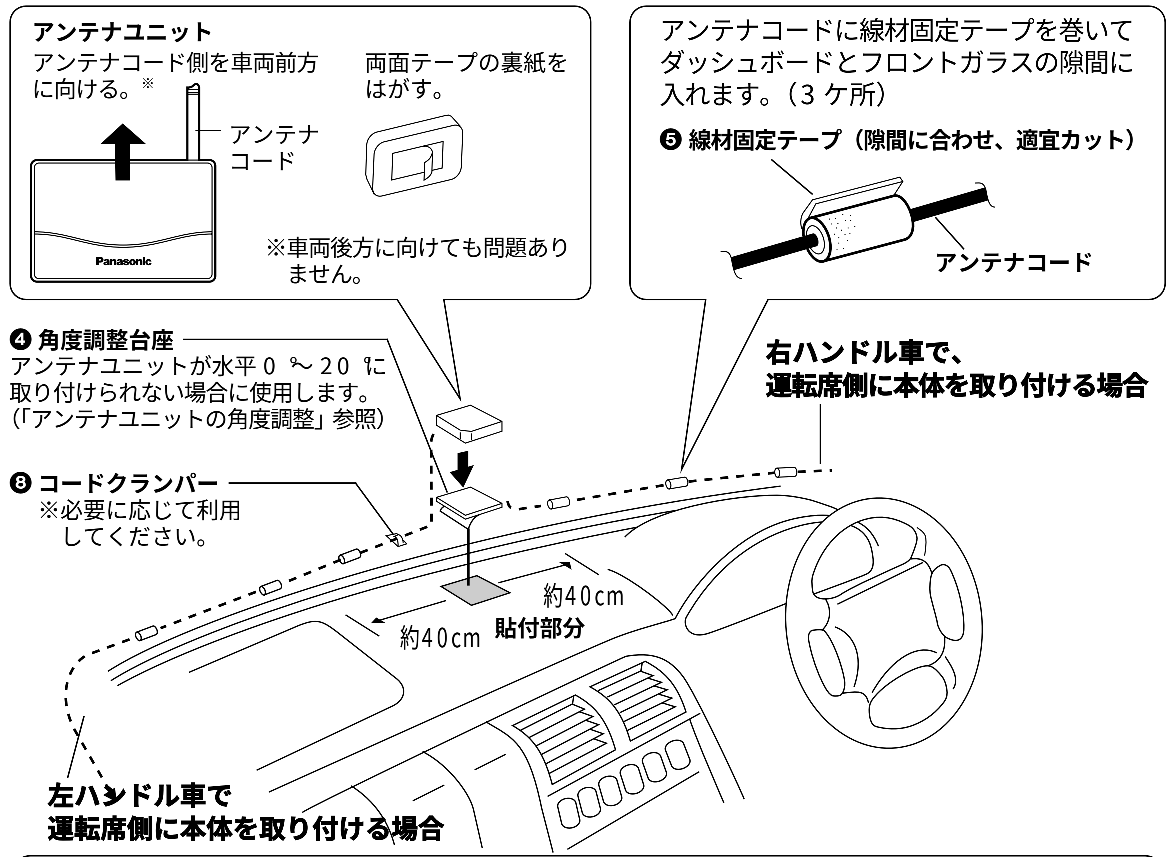
1 アンテナユニットの底に両面テープを貼り付ける。

底面の凹部に合わせて貼り付けます。



2 両面テープの裏紙をはがしてアンテナユニットをダッシュボード上に貼り付け（中央部± 40 cm）、アンテナコードを配線する。

- **フロントガラス中央部付近に**、アンテナコード側を車両前方に向けて、角度が水平 0 °～ 20 °になるように取り付けます。（水平 0 °～ 20 °に取り付けられない場合は、角度調整台座を使用してください。）
- アンテナコードをダッシュボードとフロントガラスの隙間に入れ込みます。
- アンテナコードは右座席側に本体ユニットを取り付ける場合は、右側へ引き回します。
  左座席側の場合は左側へ引き回します。

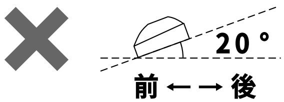


お願い

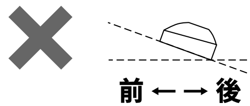
- **アンテナコードは確実にダッシュボードとフロントガラスの隙間に入れてください。**
  アンテナコードが露出し、切断などが行われた場合、ノンストップ自動料金支払いシステム（ETC システム）が使えなくなります。配線する際、断線・傷等に気をつけてください。

アンテナユニットの角度調整

アンテナユニットは、できるだけ水平０°～２０°に取り付けてください。
また、下記のような傾きでは取り付けないでください。



車両前方に向かって２０°以上傾けないでください。

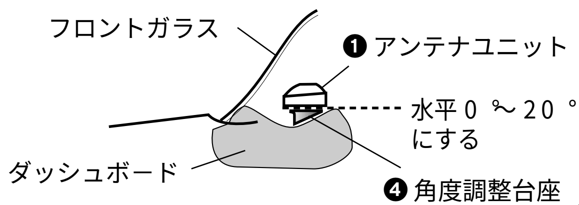


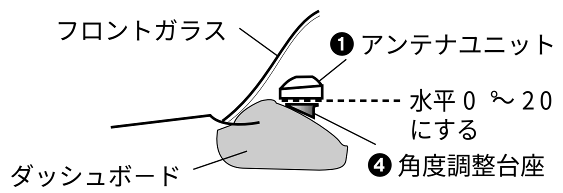
車両後方に向かっては、絶対に傾けないでください。

アンテナユニットを水平に取り付けたいが、ダッシュボード面との間が２０°※1以上傾くときは

1. アンテナユニットの底に両面テープを貼り付ける。
2. アンテナユニットの両面テープの裏紙をはがして、角度調整台座を取り付ける
3. 角度調整台座の底に両面テープを貼り付ける。
4. 角度調整台座の両面テープの裏紙をはがして、ダッシュボードに取り付ける。

●角度調整台座は、ダッシュボードの傾きに応じて前後どちらでも調整できます。





※１　同梱の角度調整台座が２０°ですので、これを目安にしてください。

取り付け後の確認

正しく配線が行われているか確認するため、以下の手順で［取付チェック］を行ってください。

1 配線および接続を確認した後、イグニッションキーを ACC または ON の位置（本機の電源が入ります。）にし、下記項目を確認する。

＜動作確認事項ーセットアップ前＞

●エラーインジケータ（赤 LED）が点灯し、「ピピ」音が 5 回出力される。
●UP ボタンを押して、音量を調整する。押すごとに音量が一段階上がります。

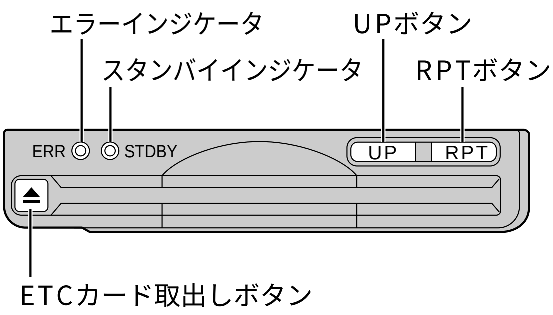
レベル1 → レベル2 → レベル3 → レベル4
（音量最小）　　　　　　　　　　（音量最大）

参考：イグニッションキーが ACC または ON の位置では ETC カード挿入口奥の緑 LED が常時点灯しています。

＜動作確認事項ーセットアップ時＞

① イグニッションキーを ACC または ON の位置でセットアップカードを挿入する。
② スタンバイインジケータ（緑 LED）が数秒点滅し、「ピ」音が 1 回出力され、スタンバイインジケータ（緑 LED）が点灯する。
③ セットアップカードを取り出す。（これでセットアップは完了です。）
④ 再度、セットアップカードを挿入し「カードを確認してください。コード○○※。」と音声案内されることを確認する。
（セットアップカードは、1 度使用すると使えなくなります。確実にセットアップがされていることを確認してください。）
⑤ セットアップ終了後、イグニッションキーを OFF にし、カードを挿入しない状態で、再度イグニッションキーを ACC または ON の位置にすると、「ピ」音が 1 回出力されることを確認する。

注意：正しいセットアップカード以外のカードを挿入すると、スタンバイインジケータ（緑 LED）が点滅後、エラーインジケータ（赤 LED）が点灯し、「ピピ」音が 5 回出力されます。



※音声案内の内容については、取扱説明書をご覧ください。

2 手順 1 のセットアップ完了の状態で、ETC カードを正しい方向に挿入する。

（本体ユニット操作面の UP と RPT ボタンがある方に ETC カードのコンタクト面を向けて挿入）

参考：ETC カードがお手元にない場合は、通常のクレジットカードなどを挿入してもカード挿脱の簡易チェックができます。

＜確認事項＞
1. ETC カード挿入直後にスタンバイインジケータ（緑 LED）が 1 回～数回点滅します。
2. 点滅が終了したら、「ETC が利用可能です。」と音声案内します。
3. スタンバイインジケータ（緑 LED）が点灯します。

（ETC カード以外のカードが入っている場合は、「カードを確認してください。コード○○※。」と音声案内します。）

※音声案内の内容については、取扱説明書をご覧ください。

3 RPT ボタンを押す。

＜確認事項＞
「ETC が利用可能です。」と再度音声案内します。
（ETC カード以外のカードが入っている場合は、「カードを確認してください。コード○○※。」と再度音声案内します）

※音声案内の内容については、取扱説明書をご覧ください。

4 イグニッションキーを OFF にする。

＜確認事項＞
エラーインジケータ（赤 LED）が点滅しながら、「カードが残っています。」と音声案内した後、ETC 車載器の電源が切れます。（ETC カード挿入口奥の緑 LED が消灯します。）

5 ETC カード取出しボタンを押し、ETC カードを抜く。

以上で確認完了です。

お願い

●取り付けと配線が終わったら、オーディオ、ブレーキ、ライト、ホーン、ウィンカーなどのすべての電装品が、正常に動作することをご確認ください。
●ETC カードは精密な IC チップを搭載しています。故障の原因となりますので、曲げたりコンタクト面を汚したりしないでください。